

SAPPORO 教区 NEWS 第7号

発行：カトリック札幌司教区事務局広報部
〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10

Tel. 011-241-2785 / ホームページ：<http://www.csd.or.jp>

全道司祭大会開催

「老いを生きる」を考える

日本の教会が待ちに待つ列福式が決定したことはとても喜ばしいことあります。教会内外に、殉教者の存在と列福の意味を知らせる貴重な機会でもあり、列福式そのものがはじめて日本で行なわれることを考えると、その影響が大きいものと思われます。

これからも皆様のお祈りをお願いします。

七月三十四日 藤学園セミナー・ハウスにて年々参加者が減少する中約四十名の司祭が参加し『北海道の宣教司牧』について講演と話合いが行われた。

今回は新たに、七月一日に山鼻教会に助任司祭として赴任したばかりの宋榮峻神父（韓国・議政府教区）、三月に叙階した月寒教会助任司祭の森田健児神父、四月一日から北十一条教会の助任司祭である上原博之神父（フランス司教区）が初めて参加。

第一日目は、ライヤ神父の司会進行で、地主司教の挨拶、運営委員長の勝谷神父（臨床パストラルケア教育研修センター長、レデンプトール会）に、テーマに則



ペトロ岐部と187殉教者 列福正式に決定

列福式に向けて動き出す！

六月一日に教皇ベネディクト十六世による裁可に伴い列福が正式に決定！

列福決定に伴い二日、長崎において「ペトロ岐部と一八七殉教者」列福式実行委員会（委員長：高見三明大司教）を立ち上げ、今後、教皇庁と調整をしながら列福式の準備を進めていくこととなります。

日本の教会が待ちに待つ列福式が決定したことはとても喜ばしいことあります。教会内外に、殉教者の存在と列福の意味を知らせる貴重な機会でもあり、列福式そのものがはじめて

日本で行なわれることを考えると、その影響が大きいものと思われます。

七月三十四日 藤学園セミナー・ハウスにて年々参加者が減少する中約四十名の司祭が参加し『北海道の宣教司牧』について講



=参加司祭の集合写真=



=講師のキッペス神父=

り講演して頂いた。

キッペス神父は、生きるとは

①自分に責任を持つこと

②自分が成長すること

③自分が変わること

と語った。例えば、記憶力を維持するための努力など、自分が自分に責任をもつ努力をすることはとても大切なこと。成長することは変わることであり、鬱いや苦痛を伴うが、変わらなければ成長しない。成長することに年齢は関係なく、いつでも成長できる。そして、生きるマニュアルはないので、個人個人が自分で自分の「生きること」を創り上げていく必要がある、と話した。また、変わることには、歳をとる（とらされることは、衰えること、病気になること（自分で

死に臨む人に臨床パストラルケアとして我々ができるのは、「変わることを援助させてもらう」ことであ

死に臨む人に臨床パストラルケアとして我々ができるのは、「死の専門家」は、死から復活されたイエスだけであると語った。

作った病気は、作らないよ

うにする）、死ぬことがあ

る。しかし、誰も死を経験

した人はいないので、「死」

がどのようなものか語るこ

とはできない。「死の専門

家」は、死から復活された

イエスだけであると語つ

た。

死に臨む人に臨床パストラルケアとして我々ができるのは、「死の専門家」は、死から復活されたイエスだけであると語つた。

ある死に臨んでいる司祭

に「司祭に大切なことは何ですか」と聞いたら、「笑

う（微笑む）こと」と答えた。

（相手に合わせて接する姿

勢、自分の中の考え方と自分

のメロディーをキチンと持つこと）

（④気付き（⑤させてもらうこと）が大切であ

り必要であると結ばれた。

講演の最後には、（①自分

ができること、（②自分しか

出来ないこと、（③今しか出

来ないこと、（④今までで

きることを各自羅列して、

身体的・社会的・心理的・

知的・スピリチュアルに分

類する分析方法を学んだ。

午後からは、分かれ合いを行い、お互いに今を生きることを見つめなおす。

夜の懇親会では、地主司

教の靈名のお祝いも行わ

れ、一年に一度の旧交を深め楽しい時間を過ごすこと

ができた。

第二日目は、地主司教から、各委員会からの報告がなされ今年の大会を終了

来道司祭の紹介

宋 榮峻 神父

(韓国・議政府教区)



教区一般会計の収支報告

十 神に感謝

宋神父は、六月二十七日に来道し、七月一日から山鼻教会助任司祭として赴任している。

二年前に、韓国教会の海外宣教の動きに応じて、メリノール宣教会との契約で日本に来日して、東京で日本語を勉強していた。

【略歴】

1957年9月16日 ソウルに生まれる
1989年2月4日 司祭叙階

同年2月からソウルの崎洞教会、黙洞教会、千戸洞教会で助任司を歴任

1994年2月からソウル平和教会、玉水洞教会、新亭教会で主任司祭を歴任

2004年6月 新設された議政府教区に異動

各小教区からの会計報告提出のご協力に感謝申し上げます。三月の年度終了後一ヶ月という短い期間にも関わらず、会計担当者皆様のご協力により、札幌教区の決算報告を、管轄官庁の北海道に無事提出し、報告することができます。感謝とともに皆様にご報告申し上げます。

かかる経済状況の中、皆様からの献金・寄付金等により、二〇〇六年度を無事に終えることができました。全体の中で、宣教活動によつて、前年度と変化のあつた部分をお知らせいたします。

□ 教区本部の職員人件費
司祭や修道者の高齢化や召命者の減少などにより、そのニーズが高まっている

カリタス家庭支援センターに、昨年度から、専門家の相談員二名を、教区から派遣しました。その分が増額となっています。

主のみこころのままに：

道在住のフィリピン人のケアを中心に行なう相談員の育成にあたる信徒宣教者が二名、

フィリピンから来道し協力頂いています。それに伴う人件費や住居費、活動費などが必要となります。二〇〇七年度は特別積立金からの取り崩しで充当しております。しかし、来年度以降はより一層の皆様のご協力をいただかないといけない状態にならうかと思います。その節はご協力を宜しくお願い致します。

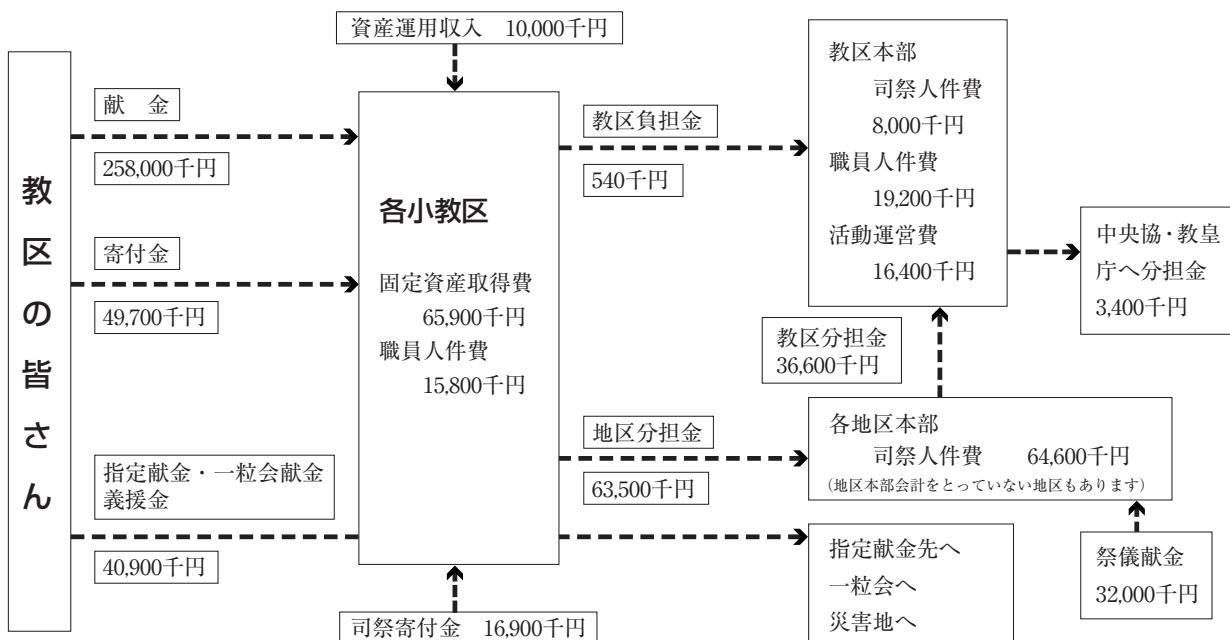
これから、専門的知識をもつた信徒の協力と活動力が、様々な場面で、司祭をサポートする形で増加していくものと思われます。収入と主な支出の流れをご覧下さい。

皆様のご支援とご協力を心より感謝申し上げます。

札幌教区2006年度決算概況報告

(2006年4月1日～2007年3月31日)

札幌教区の収入・主な支出の流れをご報告いたします。皆様のご協力に感謝いたします。



釧路地区の近況

四月二十八日（昭和の日）、釧路地区宣教司牧評議会が開催された。

十時から午後三時まで、
テーマは「ゆるし」とし、
地区長カリシモ神父さまの
みことばの祭儀に始まり、
カトリック教会固有の「ゆ
るしの秘跡」についてのお
話を受け本題に入つた。

このテーマはさきの三月二十四日、運営委員会で決められたもので、各評議員に東京教区補佐司教幸田和生

祭への質問は十六項目、特に教えられた！気付かされたところ四十一項目などをとりまとめ、出席者皆で分

釧路地区宣教司牧評議会
事務局 鈴木 英夫

札幌働く人の家
賛助会員募集!

札幌働く人の家担当司祭

今回のテーマは「生きる
ためには H o w M u c
h? ナンボヤネン」生きる
ために必要な経費や収入
は?
【場所】 札幌働く人の家
白石区栄通二丁目一一一
月十五日(土)~十七日
(月・祝)の三日間(途
中参加も歓迎)

一緒にライフスタイルを考
えてみませんか。
そして日本全国から集まつ
た仲間と意見や親睦を深め
交流し、楽しい有意義な時
間を過ごしませんか！

【参加費】 四千円（食費・
宿泊費込）※交通費は各
自負担

【問合せ】 札幌JOC

TEL ○一一(八五

連続先 杜幌働く人の家

第一日目は、会長の地主敏夫司教、理事長の久野勉神父の挨拶に始まり、永年勤続の表彰を行い、午後二時から「命は神様からのもの——食べ物を通して子どもたちに伝える——」をテーマ

= 幼児教育の現場で カトリックの心と生き方を大切に =

回の節目となる北カ幼稚園長教職員研修大会が開催。全道から三二〇名余りの教職員が集い会場は熱気で溢

点を語る)で行う「反省会」のあり方」や、相手を攻めるのではなく、自分の気持ちを語る「夫婦喧嘩の仕方」なども楽しく紹介した。

夕方五時三十分からは、第四回を記念する式典が行われ、和やかな雰囲気の中でそれぞれ交流を深めた。

の関係を、歯の種類と本数
子どもへの指導などのエピソードを交えながらとてめ分かりやすく話された。

いくことが大切な要素を占めていくものと思われる。今回の研修を生かし、カトックの心や生き方を、保育の現場で生かしていくことが重要なこととなるであらう。

カリタス家庭支援センター 活動支援の サマーコンサート



八月二十五日(土)午後一時から札幌・北一条教会で、家庭支援センターの活動を支援するサマーコンサートが開催される

支援コンサート実行委員会（委員長 手戸一郎）主催。今回は、マンドリン、フルート、パイプオルガンが演奏される予定。入場料は無料。ミニバザーや喫茶コーナーも同時に開催される。皆様のご支援宜しくお願ひ致します。

北海道力トリック幼稚園協議会

第40回記念大会開催

点を語る)で行う「反省会」や、相手を攻めるのではなく、自分の気持ちを語る「夫婦喧嘩の仕方」なども楽しく紹介した。

木内藤三郎神父の資料室が 雪の聖母園の一角に完成！



活動を理解していただくな
助となればと願っています。」と語っていた。

また、同職員の田中さんの話では、「私は務め始めで五年ほどで、昔のことはそれ程詳しくはありませんが、訪れた方の中には、万感迫つて、資料室から中々出てくることができない方がいらっしゃいます」と話して下さった。

雪の聖母園の創設者である木内神父縁の品々を展示する資料室が整備されたと聞き、過日、訪れてみた。整備にあたった職員の一人である蛯子氏は「旧園舎の取り壊しの際に、しまつてあつた品々が日の目を見た。上坂園長等と相談して、是非、皆さんにも見て頂こうと資料室を整備しました。展示用のプレートスタンプも、木内神父が彫刻が好きだったのを思い起こしながら、在りし日のことを思い出し、敷地内にあるえんじゅの木を使って、心を込めて作りました。記念の品々を多くの皆さんにご覧頂き、雪の聖母園の歴史と

頂きました。雪の聖母園の一角に完成！

活動を理解していただくな
助となればと願っています。」と語っていた。

資料室にある写真や、木内神父縁の品々からは、木内神父始め、創設当時から施設運営に携わった方々の苦労は計り知れないものが写真や写真も多数収録。

A5版、68頁、三五〇円



内神父の品々からは、木内神父始め、創設当時から施設運営に携わった方々の苦労は計り知れないものが写真や写真も多数収録。

内神父始め、創設当時から施設運営に携わった方々の苦労は計り知れないものが写真や写真も多数収録。



中央協議会出版部
から発刊！

教区・各地区の行事予定

		◆教区											
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
◆札幌地区		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
	上旬	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
◆函館地区		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
	上旬	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
◆旭川地区		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
	上旬	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
◆釧路地区		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
	上旬	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
◆北見地区		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
	上旬	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
二〇〇六には、話題を呼んだレーベンスブルク大学での講演など全七十三講話が収録。		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
(税込一、〇五〇円)		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
二〇〇六年には、話題を呼んだレーベンスブルク大学での講演など全七十三講話が収録。		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
(税込一、二六〇円)		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
カトリック大会（北見教会）		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
地区宣教司牧評議会		27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)

